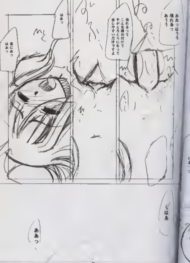
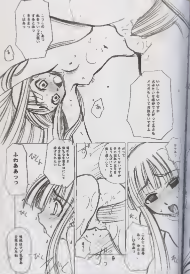

ADULTS ONLY
CIRCLE TENRAIGA
produced 2005 SUMMER
ネギまちっく天国
スペシャル!
天雷芽


くふぁあっっ
まっまてっっ
待てと言ってるだろう
やめよと
言って…るだろ
…
はぁ
やめろって言っても
エヴァンジェリンさんが
しろって命令した前に
今さらやめろって
それに
エヴァンジェリンさん
のここ気持ちよくて
あっ
た、…たわけ
このくらい散々
経験してるは
はぁ
はぁ
はぁ
長く生きてる割に
こっちの経験は
少ないみたいで
きつすぎるよ
この程度で
ネをあげるるのか
…


そうなんた
ならもっと激しく
しても平気たね
ばっぱか
違うっ
もうよいおだ
私はもう十分っっ
よっよせっ
だめなんじゃ
もうっっ
ぬ
ぬっ
ぞくっ
そんなに激しいのは
慣れてッ
なれてないのっああ
くはあっっ

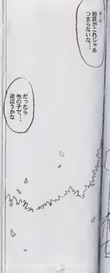

ああっはうう 壊れるっ あうう
壊れるって こんな締め付けて 中がとろとろになって 悦しやすいだけですよ
はあっ
はあっ
くはあ
あぁっ


あっこんな私のが広がって
あっふうう
ねぎ・・あっ
くふううっよせっこんな格好でするのはあっ
やあっこの私がこんな犬のような格好でなど・・


いいじゃないですか
犬みたいな格好でよがってるのも
メス犬らしくてお似合いですよ
こっこの、あっ
私をっいっ犬扱い
するとはっ
きさまっ
くはあっ
あ
ひゃあっ
だって
そうじゃないですか
ずっ
強気な言葉を口にして
本当は誰かに
虐げられたい
びくん
ふわああっっ
びく
9

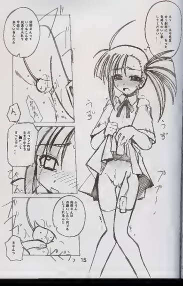

くはあっ
あああぁぁぁあっ
びくびく
あっ

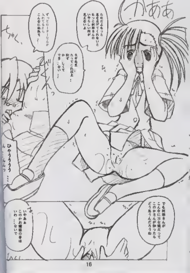
天津冴



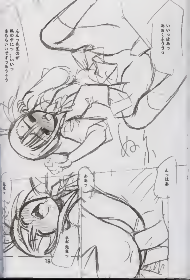

ネ…ネギ先生…
ふる
お願いです……もう、許して下さい…
刹那さん
ふる
うず
うず
許してって 何か僕が刹那さんを虐めたりしました?
だってもうこんなの 私耐えられないっ お願い
ふる
ふる
そんな嫌なら 初めに言って くれればいいのに


てっきり剣部さんも喜んでくれると思ったから
たからこうして……
んんっっ
んっあんっ
んんんっっ
でも剣部さんが嫌なら
これでもう何も
しないよ
えっあの
そんな…
どうしたの？
いや何じゃ無いの？
して欲しいなら
ちゃんとお願い


ネッ、ネギ先生　せっ刹那に　気持ちのいい事　してください・・・
刹那さんって　いつもこんな　玩具を入れて　学校に　来ているんだぁ
だってこれは　先生の命令で
言ったのに・・・
ふうん　刹那さんは　お願いしたら何でも　してくれるんだ


かあああ
ため…だよもっと
足を広げてくれないと
もっと刹那さんの
いやらしい所が
見えないよ
ずっとローターなんか
入れてるから
こんなに濡れて…
ネギ先生
たってこれ以上…
恥ずかしくて
ちゅく
ひゃうううう
でも刹那さんが
こんなにHな娘だって
このかさんが知ったら
どう思うんだろうね
いやあぁ
このかお嬢様の事は
いわ…ないで


だって
気持ちよくなる
知られたく…ない
こうし…てる…だけで
すっかり刹那さんも
これの虜なんだね、
初めからそう言えば
すぐ入れてあげたのに
んんっ
くはあぁっ
んっすごいっ
奥までっ

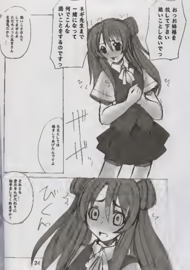


いいっはあっ
ああくふううっ
んんっ先生のが
私の中にっ　いいっ
きもちいいですっあぅうう
ぬぅ
んっはぁ
ああっ
ネギ先生っ
先生ッ


剣部さんもまんまん 触ってるのに ずっときつくしめつけて 気持ちいいですよ
せっ先生 もっと私で かっ感じて下さいっ
かわいいですよ 剣部さん 言われなくても 剣部さんのが まとわりついてっ
ああっ
あっ あうぅぅ
はっくるっ 先生っ
私っ つつ


気持ちよかったですよ
剣崎さん
まあこんなに濡れさせる
くらい興奮させて
くれたけどでも
十分かな
でも 今度はいっそ
このかさんを好きに
興奮させ、
そうすればもっと
楽しめると思いますよ
もっと、楽しめる
うれしい、
楽しみです


あっあうう おしりにい もういやぁ
もう許して 許してええ あっくふう
ためえ～
やだっっ あっあっくふう
ふああああぁあっ あっ、、、熱い 、、お尻に お尻にいい いやああぁっ
くはあぁっ


おっお姉様を
放して下さい
酷いことしないでっ
ネギ先生まで
一緒になって
何でこんな
酷いことをするのですっ
先生としては
躾をしてあげたんですよ
びくんっ
それとも…


わっ
解ってます
わかってますよ
でも早くしないと
小太郎君が・・・
大切なお姉様の
処女を奪って
しまいますよ
やめてっ
舐めますっ
舐めますから


こ…これが
男の人のこれを…
でもお姉様の
ためなら
はむ
舐めるなんて
いいですよ
ぎこちないですが
すぬ
でも少し物足りないですね…
もっと口を広げて
喉で味わってくれ
ないと…
んーんんっ
そう…
少し動きますよ
す
んんー



んんっ
んあっ
ドプドプッ



ひっく
えっえっ
ほら もっとしっかり広げて…
もう… やめてっ許して下さい もう十分でしょっっ…
十分って これからが本番ですよ
あううっっ


もうっっ
嫌あっ
助けてぇっ
お姉様
助けてッ
……はい
びく
あっ



わかりました
わかりましたから
お姉様は…
たすけて…
でって…
お姉様思いの
提督がいて
助かったね
そんなに
仲がいいなら
…
ねっ
かあぁ
きゃ～
あっお姉様
何をっ
大丈夫よ
私に任せて
力を抜いて
びくん
だめですっ
そんなとこ
汚いですっ
ごめんなさいっ
せめてこうして
少しでも愛炎の
痛みをやわらげて
あげます…
びくん


だめっあっくふう
汚いっやめて
お姉・・・様っ
は
ひゃあっ
ふあ
あっくふんっ
ああ・・・
あっいやっ・・・
ほら愛衣
大分ほぐれてきましたよっ
こんなに濡らして
あなたもいやらしい娘
なんですね・・・
だめえっ
見ないで・・・


でもこんなに濡らして……私の指を簡単に飲み込んで……
嫌っ だめぇっ いじらないで……
ほら愛衣……見なさい……あれがここに……あなたの中に入るのよ
ええっ そんな……無理です……
やめ…て お姉様も先生も……
これ以上されたら……わたしっ……
いやあぁ……


ならそろそろ
愛衣ちゃんを
味わわせて
もらおうかな…
おっお願いしますっ
それだけはっ
それだけは
許してっ
許して
くださいいっっ
いやっ…
痛っ
かはっ…
ぬぬ、


くはぁー
ふあああぁー
あっ
かはっー
あああ、、
ほら・
ちゃんとゆっくり
はいっていく


ああっ
私の可愛い愛衣の中に
こんなものがはいって
うらやましい
ヌヌヌ…
あっ
お姉・・様？
ぞく
ぞく
ふふっ
可愛いおさねを
こんなにして…
ひゃあっ
くふぅ


いやぁぁあっっ
あっ…


@ComicMarket68
(C)2005 Sao Amatsu
All right reserved.